

今年は東京国体の年！

>> パンタナバー

第3回 なぎなた競技を見に行こう！【演技競技編】

なぎなたって？

なぎなたは日本の伝統的な武器の一つです。斜めから切り倒すことが特徴で、太刀より長いため、海戦や、馬上の兵士に対する戦いで有効でした。

鉄砲伝来以降、戦術が変化したため戦には使用されなくなり、江戸時代には武家の女性の護身術として各流派が発生しました。

嫁入り道具の一つともなり、美しい装飾が施されたなぎなたも作られました。このような歴史から、現在でもなぎなた競技は女子が主流となっています。

なぎなた競技は、二種類あります

なぎなたの競技には「演技競技」と防具を着けて行う「試合競技」の二種類があります。今回は演技競技について紹介します。

演技競技

演技競技には、基本動作や技を組み合わせた「しかけ・応じ」と、伝統的ななぎなたの技が洗練された形の「全日本なぎなたの形」があります。（国体では、しかけ・応じを行います）

演技競技は防具を着けず、「しかけ・応じ」または「全日本なぎなたの形」の中から指定されたものを、二人一組の演技者によって行い、その技の優劣を競い合う競技です。

審判員はココを見ている！

演技の判定基準となるのは、演技者双方の姿勢、服装、態度、発声、呼吸と気持ちが調和しているか、打突（だつ）部位を正確に気魄（きはく）に満ちた打突をしているか、残心（ざんしん）、間合、手の内、着眼等、理合（りあい）にかなった技であるか、見る人に感動を与えたかなどの点です。

選手をじっと見つめる5人の審判。赤・白二組の演技終了後、パツと旗があがります。過半数をもって、勝敗が決定します。

次回は、「試合競技」についてご紹介します。



演技競技の様子

組を判別するため、腰にタスキを巻いています。

炬火イベント

●炬火（きよか）とは…

国体会期中、選手の活躍を見守る火であり、オリンピックでいう聖火にあたるものです。都内の区市町村で採火された炬火は1つに集められ、平成25年9月28日（土）の総開会式で炬火台に点火されます。



冬季大会での炬火イベントの様子

●港区の炬火イベント

【日時】

平成25年7月14日（日）

18:15～18:45（予定）

【会場】

都立お台場海浜公園「おだいばビーチ」

「海の灯まつりinお台場2013」の中で、炬火の採火を行います。

(公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団)
港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティふらざ
電話：03-5770-6837/Fax：03-5770-6884 お問い合わせ：fureai-info@kissport.or.jp



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。当財団の許可なく複製、転載は出来ません。